

◆ 大阪電気通信大学 金融経済学部

アセット・マネジメント学科准教授

松尾 邦子 (まつお くにこ)

○ 略歴：

1980年同志社大学法学部法律学科卒業。82年米国ジョージタウン大学スクール・オブ・フォーリンサービス卒業、同大学国際戦略研究センター（CSIS）研究員補佐。プルデンシャル・ベーチェ証券、モルガンスタンレー・インターナショナル東京、住友信託銀行（東京）などをへて、99年(有)エトス-21代表取締役、現在は取締役。

○ 講演題目：

「ホントは身近なお金の話（副題：アセット・マネジメント（資産運用）とは）」

○ 講演概要：

日本でも「アセット・マネジメント」という言葉が比較的頻繁に聞かれるようになったが、身近なことと捉える人は多くない。しかし、100年に一度の金融危機、年金制度の問題など、私達を取り巻く社会・経済状況は確実に変化している。右肩上がりの経済で、銀行や郵便局にお金を預けて安心できた時代は去り、私達は将来の生活に自己責任を持たざるをえない。

個人資産を正しく管理し増やしていくことは、日本経済の将来に求められる重要な課題である。本学が2009年4月に開講したアセット・マネジメント学科は資産運用・管理の教育に特化した日本初の学科であり、これまでの経済学部などとは異なる強力な「実践型教育」を提供すると同時に、一般社会人の方々や現役高校生たちにも「アセット・マネジメント」を身近に感じてもらうための啓蒙活動に力を入れている。

今回の講座では日常生活が、実は「アセット・マネジメント」と密接に関係していることを平易に解説する。